

【進路選択の時期を迎えました】

3年生の進路選択の時期となっています。スポーツ活動を中心とした進学や推薦入試を希望する生徒、私立の高校へ進学する生徒等が実際の入試手続きに入り始めているところです。1年生・2年生にとっても他人事ではありません。なぜなら皆さんも1年後・2年後には3年生になり同じような進路選択の場面を迎えるからです。現在行っている学校生活の積み重ねが結果として受験書類に反映されてきます。朝の遅刻・授業の遅刻・服装容疑・授業態度・学力等高校でも通用する学校生活を送っているでしょうか？2学期の三者面談を前に、自らを振り返って自分の進路選択の幅を広げて欲しいです。望む進路決定が出来ることは、先生方全員の願いでもあります。先生方の助言も受けながら学校生活を送ってほしいものです。

さて、全体朝会では、高校入試も大切だが、その後の高校生活も大切であるとお話しをしました。特に本部中学校から少人数で高校進学する人も多くいると思います。裏面に昨年までの進路状況を載せてありますが、例えば19名が進学した名護高校でさえ、一クラスに一緒にいる本部中学校生は2～3名ということになります。知り合いの人と同じ学級になるということは高校になるとものすごく少なくなります。そこで実践して欲しいことがあります。

まず一つ目があいさつです。毎朝正門で渡久地政弘さんや、松川秀清さんなどがあいさつをしています。高校では初めての先生方、初めての級友、初めての地域という場面も多くあります。そんなときにきちんとしたあいさつができる人は好感をもたれ、受入れられやすくなります。ぜひ、①相手よりも先に、②相手の目を見ながら（できれば笑顔で）、③相手に届く声で（できれば立ち止まって）あいさつができるよう練習しておくと思います。



二つ目にコミュニケーション能力を高めておくということです。できるだけこちらから話しかけ人間関係を作れるようにしておくチャンスが増えると思います。日頃から心がけてみましょう。

三つ目に自分も周囲も好きになると言うことです。およそ人間の集団は同じような集まりだと思っています。だからこそ、こちら側から構えることなく周囲に対して好感を持ちながら関わっていくことが得策だと思います。周囲を好きになるためには、積極的に話しかけることを心がけてみることで、問題となるのは自分を好きになれない場合です。自分で考えると自分の悪いところだけに目がいく人もいます。そこで私が心がけたのは、小さな事でも人のためになることを継続することです。少しでも人の役に立てると思えると自分の事も好きになれると思います。中学生の間に心の力を付けていくと良いと思います。

いずれにしても、高校入試は中学生からするとゴールですが、高校生からみるとスタートです。合格した後もとても重要です。中学校生活の中で自らを高める視点を持ち鍛えてみましょう。

